

Report

障害者の文化芸術国際交流 2018 ジャパン × スウェーデン プロジェクト レポート

6月2日（土）から「2018 ジャパン × スウェーデン プロジェクト」が始まりました。今年には日本とスウェーデンの外交関係樹立 150 周年にあたります。この記念すべき年に、日本全国から選出された作者 8 名とスウェーデンのアリエ・イヌティとメンタルヴォード美術館から選出された作者 18 名の作品を同時に紹介する「アール・ブリュット 日本とスウェーデン (ART BRUT - SVERIGE OCH JAPAN)」展の開催や、障害と芸術に関する国際フォーラム「社会・文化イノベーション対話フォーラム」(6月3日(日)開催)等の、記念プログラムが行われました。ここでは、現在も開催中の展覧会のご案内と今月初旬に実施したフォーラム等の様子をご報告します。

近年、日本のアール・ブリュットは世界でも注目されていますが、今回は北欧で初めて日本のアール・ブリュット作品を展示しています。両国のアール・ブリュット作品をあわせて発表することで、さらに文化芸術交流が深まることを期待し、3年前から共催であるアリエ・イヌティ、メンタルヴォード美術館、エズヴィック・コンストハルと話し合いながら進めてきました。

会場のエズヴィック・コンストハルはかつてお城の厩舎（馬を飼う小屋）だった建物をリノベーションしており、白い木の壁や自然光がうっすらと差し込む温かみを感じるギャラリーです。日本側とスウェーデン側でそれぞれキュレーションされており、作品の見せ方においてもそれぞれ楽しむことができます。

6月2日（土）のオープニングイベントでは、山崎純駐スウェーデン日本国特命全権大使、美術館があるソレンチューナ自治体のヨン・カールソン代表にもご出席いただき、アリエ・イヌティの作者や美術関係者、地域住民、特別支援学校の教員、スウェーデン在住の日本人など多くの方々が来場しました。日本のアール・ブリュット作品を初めて観たという現地の方々は、一つひとつの絵画をじっくりと鑑賞されていました。約一ヶ月間の会期があるため、今後たくさんの方にご来場いただけることを期待しています。



「アール・ブリュット 日本とスウェーデン (ART BRUT - SVERIGE OCH JAPAN)」

会期：2018年6月3日（日）～7月6日（金）

会場：エズヴィック・コンストハル (Edsvik Konsthall)

(Landsnoravägen 42, 192 51 Sollentuna, Sverige)

URL: <https://www.edsvik.com/>



会場：エズヴィック・コンストハル (Edsvik Konsthall)



スウェーデン作品



展覧会場の様子



展覧会場の様子